

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書	
2025年 6月 30日	
山口県知事 様	
提出者	
住 所 山口県山陽小野田西沖5番地	
氏 名 西部石油株式会社	
山陽小野田事業所長 西村伸尚	
電話番号 0836-88-1113	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	西部石油株式会社山陽小野田事業所
事業場の所在地	山口県山陽小野田市西沖5番地
計画期間	2025年4月1日～2026年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	倉庫業
②事業の規模	売上高 4,374 百万円 (2024年度)
③従業員数	87名 (2025年3月31日 山陽小野田事業所在籍者数)
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙「特別管理産業廃棄物の一連の処理工程」に記載

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

(管理体制図)

別紙「特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制図（特管）」のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 2024 年度）実績】 別紙2－2のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 石綿含有廃棄物は、近隣の製鋼会社で高温溶融処理・無害化している。溶融灰は鉄スラグとして再資源化し、ロータリーキルンストーカ炉による燃焼方式で廃油などの廃酸、廃アルカリなどの廃液も機械化によって効率よく処理します。 汚染油や安定器等のPCB汚染物等は、ロータリーキルン式焼却炉、固定床炉の施設を有する企業へ処理を依頼無害化している。 廃酸・アルカリについても、優良認定事業者へ依頼し無害化をしている。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・これまでの実施した取り組みを継続 ・計画的に排出し、全量無害化処理する。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 特記なし
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・これまでに実施した取り組みを継続し、極力再資源化処理先に処理委託を行い最終処分量のミニマム化を測る。 ・石油精製装置停止に伴う産廃の適切な分別

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 2024 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施していない		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 2024 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施していない		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（ 2024 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・実施事例なし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施事例なし		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

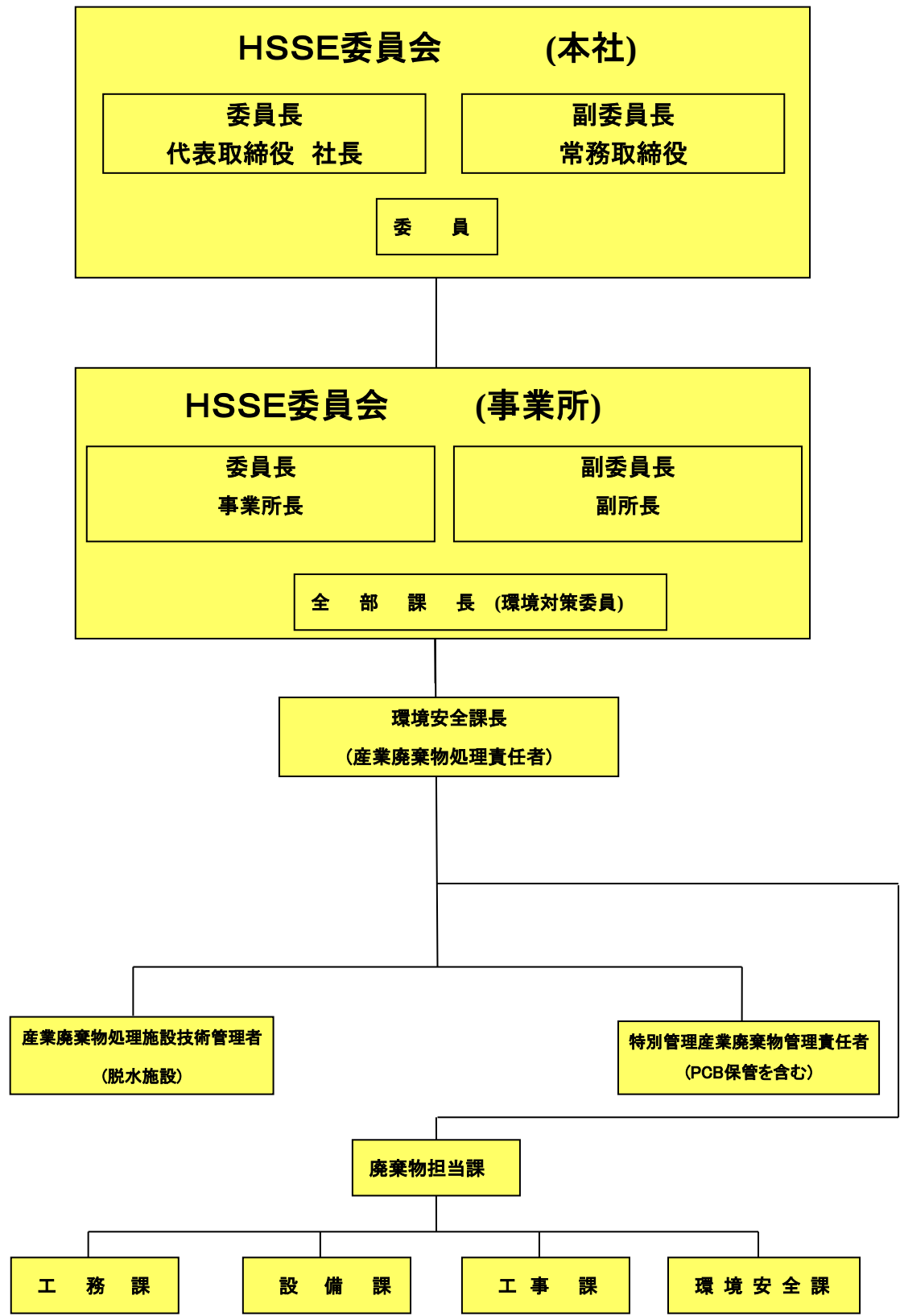
①現状	【前年度（ 2024 年度）実績】 別紙2-2のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 再生利用が可能な廃棄物について再資源化処理が可能な委託先を選定し、最終処分量のゼロ化をめざす ・ 可能な限り優良認定処理業者から委託先を選定		

②計画	【目標】別紙２－２のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
・ これまでに実施した取り組みを継続する ・ 石油精製停止、装置内容物等撤去に伴い廃棄物の量は増加するが、極力再資源化処理先に処理委託を行い最終処分量のミニマム化を測る ・ 油槽所化に伴い、油の混じった排水を処理予定であるが、できる限り水と油分をきり分け減量に努める			
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（ 2024 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	366.751 t	
	(今後実施する予定の取組等)		
・ 電子マニフェスト使用継続			
※事務処理欄			

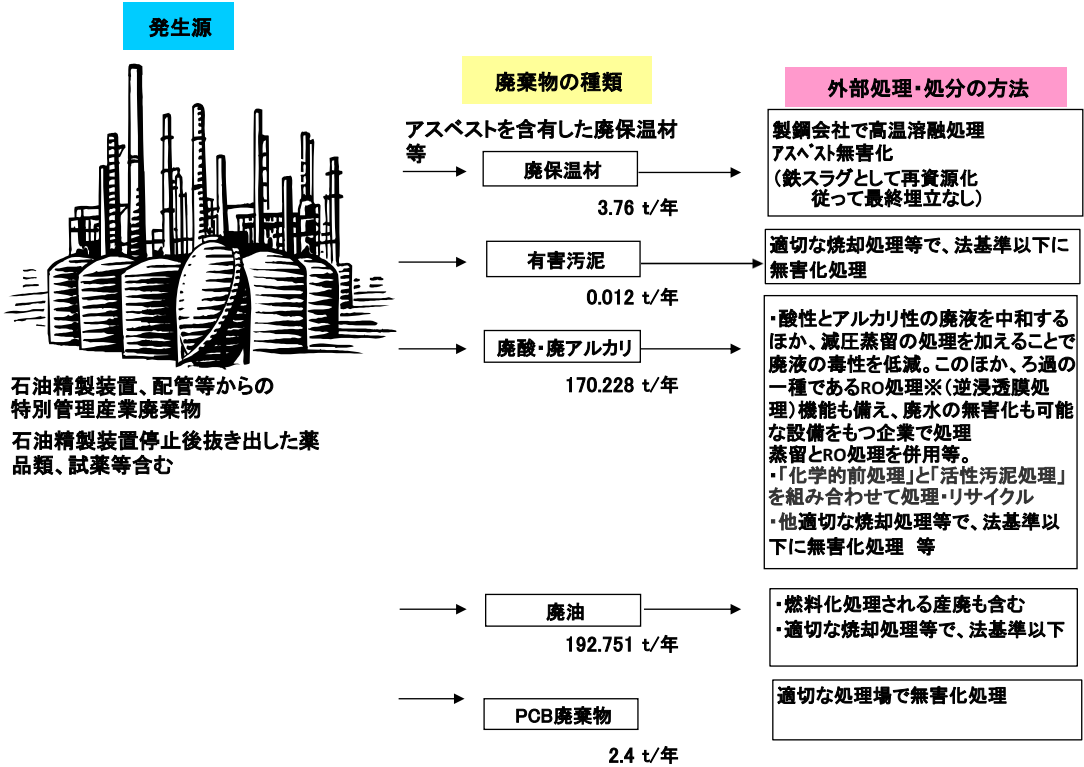
備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令(以下「令」という。)第6条の14第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量(ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。)を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等(情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。)について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制図(特管)



特別管理産業廃棄物の発生・処理フロー図(現状・実績)



別紙 特別管理産業廃棄物の一連の処理工程

多量排出事業者の特別管理産業廃棄物処理計画書(補足)(令和7年度計画)

多量排出事業者 名 称	西部石株式会社山陽小野田事業所	所在地(市町名)	山陽小野田市	事業の種類	倉庫業
-------------	-----------------	----------	--------	-------	-----

(単位:トン)																					
区分	種 類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
		排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
特別管理産業廃棄物	廃油	35	380									35	380	35	380	35	380				
	廃酸	33										33		33		33					
	廃アルカリ	137										137		137		137					
	感染性産業廃棄物																				
	PCB																				
	PCB汚染物																				
	PCB処理物	2	3									2	3	2	3	2	3				
	廃石綿等	4	1									4	1	4	1	4	1				
	有害産業廃棄物	158	5									158	5	158	5	158	5				
	計 (B)	369	389	0	0	0	0	0	0	0	0	369	389	369	389	369	389	0	0	0	0